

<b>授業科目</b>  がん看護学特論Ⅰ	<b>科目概要・形式</b>  2単位30時間(15コマ) 講義科目	<b>配当年次</b>  博士前期1年次 前期開講	<b>オンライン参加</b>  可・不可 「下記6, 7参照」
<b>科目責任者</b>	鳴井 ひろみ		
<b>担当者</b>	鳴井 ひろみ、本間 ともみ、平 典子 (非常勤)、山崎 智子 (非常勤)		
<b>1. 科目のねらい・目標</b> <ねらい> がん患者・家族の看護に用いられるストレス・コーピング理論、危機理論、喪失、悲嘆等の理論について理解を深めるとともに、実践および研究への適用について探究する。また、既存の研究結果や文献、個々の体験に基づいて、がん看護の現状の課題を分析し、今後の展望について洞察する。これらを踏まえて、がん看護の質向上をめざした実践・研究・教育への活用方法を探究する。 <目標> 1) がん医療・看護の現状と課題、今後の展望について説明することができる。 2) がん患者・家族への看護に主に用いられる概念・理論について説明することができる。 3) 高度実践看護師としてがん患者・家族に提供する専門的な看護の質向上のために、がん看護領域における主要な概念・理論を看護実践・研究・教育に活用する方法を検討できる。			
<b>2. 授業計画・内容</b> <がん患者とその家族に対する看護の現状と課題> 1回：がん医療・看護の現状と課題 (鳴井) 2回：高度実践看護師の歴史と役割 (平) <がん患者とその家族に対する看護介入に適用される主要な概念・理論の理解と活用> 3回：がんサバイバーの理解 (平) 4回：ストレス・コーピング理論の理解と活用① (鳴井) ストレス・コーピング理論について、理論家の著書や参考書を基に資料を作成して発表し、研究・教育への活用方法について討議する。 5回：ストレス・コーピング理論の理解と活用② (鳴井) ストレス・コーピング理論を用いたがん看護に関する研究論文を検索し、研究成果の活用について検討した内容を発表し討議する。 6回：ストレス・コーピング理論の理解と活用③ (鳴井) 各自が経験した事例を基に理論を用いた事例分析の資料を作成して発表し、がん患者とその家族に対する理論を適用した看護介入の展開方法について討議する。 7回：危機理論の理解と活用① (鳴井) 危機理論について、理論家の著書や参考書を基に資料を作成して発表し、研究・教育への活用方法について討議する。 8回：危機理論の理解と活用② (鳴井) 危機理論を用いたがん看護に関する研究論文を検索し、研究成果の活用について検討した内容を発表し討議する。 9回：危機理論の理解と活用③ (鳴井) 各自が経験した事例を基に理論を用いた事例分析の資料を作成して発表し、がん患者とその家族に対する理論を適用した看護介入の展開方法について討議する。			

- 10回：悲嘆・喪失理論の理解と活用①（山崎）  
悲嘆・喪失理論について、理論家の著書や参考書を基に資料を作成して発表し、研究・教育への活用方法について討議する。
- 11回：悲嘆・喪失理論の理解と活用②（山崎）  
悲嘆・喪失理論を用いたがん看護に関する研究論文を検索し、研究成果の活用および理論を適用した看護介入の展開方法について検討して発表し討議する。
- 12回：セルフケア理論の理解と活用①（本間）  
セルフケア理論について、理論家の著書や参考書を基に資料を作成して発表し、研究・教育への活用方法について討議する。
- 13回：セルフケア理論の理解と活用②（本間）  
セルフケア理論を用いたがん看護に関する研究論文を検索し、研究成果の活用および理論を適用した看護介入の展開方法について検討して発表し討議する。
- 14回：エンパワーメントの理解と活用①（本間）  
エンパワーメント理論について、理論家の著書や参考書を基に資料を作成して発表し、研究・教育への活用方法について討議する。
- 15回：エンパワーメントの理解と活用②（本間）  
エンパワーメント理論を用いたがん看護に関する研究論文を検索し、研究成果の活用および理論を適用した看護介入の展開方法について検討して発表し討議する。

### 3. 教科書、参考書

#### <参考書>

筒井真優美編：看護理論家の業績と理論評価、第2版、医学書院、2020年  
リチャード S. ラザルス、スーザン フォルクマン：ストレスの心理学：認知的評価と対処の研究、実務教育出版、1991年  
林 峻一郎、リチャード S. ラザルス：ストレスとコーピングーラザルス理論への招待、星和書店、1990年  
小島操子：看護における危機理論・危機介入ーフィンク／コーン／アグィレラ／ムース／家族の危機モデルから学ぶー、第5版、金芳社、2024年  
ドロセア E. オレム：オレム看護論ー看護実践における基本概念、第4版、医学書院、2005年  
他、講義の中で適宜紹介する。

### 4. 成績評価方法

授業への取り組み状況 40%、プレゼンテーション・質疑応答の内容 60%で総合的に評価する。

### 5. 受講要件

CNS（専門看護師）コースがん看護の学生は必修

### 6. 社会人学生に対する配慮

オンライン授業等は相談があれば個別に対応する。オンライン授業の場合はリモートでの同時双方向型授業を行う。

### 7. その他

- ・課題内容について文献検討を行い、プレゼンテーション資料を作成して臨むこと。
- ・状況に応じて Webex meeting または Zoom を用いた遠隔講義を実施する。
- ・オンデマンドの実施不可